

プレゼンテーション

スーパープレゼンテーション



中学校

高校

総合

情報

外国語

英語

24分

プレゼンの名手登場!

(2012年放送)

この番組の良さ



視覚に訴えるプレゼンテーション

この番組では、1400本を超えるTED Talksと呼ばれるプレゼンテーション(以下「プレゼン」)のうち2本が紹介されています。1本目は、番組解説者の伊藤穰一氏(MITメディアラボ所長)が「知っている中で一番プレゼンが上手い」と言い、ビル・ゲイツ氏も「人口問題に最高の解説を与える人物」と評価するスウェーデンの公衆衛生学者、ハンス・ロスリング氏のプレゼンテーション。アナログとデジタルを使い分けた説得力のあるプレゼンに魅了されるでしょう。2本目はエンジニアであるマット・カツツ氏の体験談に基づいたプレゼンで、自分のアイデアを多くの人と共有したいという熱意が伝わってきます。

各科目の授業のねらいで

総合的な学習の時間をはじめとし、各科目の授業のねらいにそって活用することができます。

番組活用のポイント

表現の多様性を学ぶ

新しい学習指導要領では言語活動の充実が掲げられています。その目的の一つが表現力をはぐくむことです。プレゼン名手のハンス・ロスリング氏のプレゼンは、「増え続ける世界人口」。人口増加問題に対する新たな解決策を伝えています。前半では「人口」や「先進国・発展途上国」などの捉えにくい概念を「箱」や「模型」を使ってアナログで表現し、後半は膨大な統計データを自ら開発したデータ表示技術を使って、動的にデジタルで表現しています。このアナログとデジタルの対比が鮮やかで、表現の多様性について学べるとともに、プレゼンで重要なことは「説得力」であることを理解することができます。

効果的なスライドと話術

マット・カツツ氏のプレゼンは「30日間チャレンジ」。前からやってみなかったことを30日間試しにやってみるというものです。自分の体験をもとにスライドを効果的に使いながら、軽妙な話術で、目標の設定と達成について考えるための方法が提案されています。

いろいろな授業に使える

番組中、伊藤穰一氏が「統計学とビッグデータ」について解説しており、「ムーアの法則」に関連した内容にも触れているので数学や情報の授業に利用できます。また、もともとこの番組は、語学教養番組として制作されているので英語の授業やプレゼンを学ぶ教材として、中学・高校の各学年のいろいろな授業で活用できます。

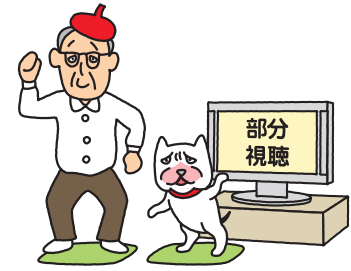
より効果的に

クローズアップ現代『アイデアが世界を変える』(P.38)を前もって視聴し、TEDについて理解したうえで、番組を活用するとより効果的です。

(井上 勝)

学習展開例 授業時間 50分

persuasiveな（説得力のある） プレゼンテーションとは



時間配分	学習活動	教師の支援
5分	①プレゼンテーション（以下「プレゼン」）の手法について知っていることをあげる。	○プレゼンの意味をおさえる。
5分	②番組冒頭を視聴する。  視聴 ・世界から集まったスピーカーが自らのアイデアをプレゼンするTEDカンファレンス（開始～2分59秒）	○TEDについての補足説明をする。（P.38参照）
13分	③気づいたことをノートにメモしながらハンス・ロスリング氏のプレゼンを視聴する。  persuasive 説得力のある ・解説 難しい問題をわかりやすく解き明かす説得力のあるプレゼン（2分59秒～3分20秒）  1960 ・前半 「人口規模」という捉えにくい概念をホームセンターで買ってきた「箱」で表現（3分20秒～10分13秒）  2010 ・後半 発展途上国の子どもの生存率を上げることが、人口爆発を食い止める鍵だということを動くグラフで説明（10分13秒～14分40秒）	○世界人口の増加をテーマにしたプレゼンであることを予告する。 ○次の点に着目しながら視聴させる。 ・スピーカーの最も伝えたいこと ・プレゼンの手法 キーワード：「アナログ」 キーワード：「デジタル」 ※前半、後半と分割視聴してもよい。
20分	④前半部分と後半部分に分けて、説得力のあるプレゼンだと思われる理由を検討し、発表する。	○前半部分と後半部分を対比できるように発表内容を板書する。 ○ロスリング氏のプレゼンと自分たちのプレゼンの違いを考えさせる。
7分	⑤「プレゼンのポイント」を視聴し、学習したことをノートにまとめる。  2010 イメージの架け橋 Build a mind bridge ・このプレゼンのポイントは「イメージの架け橋」（18分30秒～19分43秒）	○いろいろな手法を工夫して組み合わせることにより、効果的なプレゼンになることを理解させる。

※この教材は「プレゼンテーション」を学ぶ以外にも、例えば、地理や現代社会、政治経済などの地歴・公民分野、人口爆発や南北問題をあつかう単元などの教材にも使えます。

コラム 統計アニメーションソフトウェア

ハンス・ロスリング氏のプレゼンテーションの中で使われている統計データを動的に表現するソフトウェアについては、氏が家族とともに設立したGapminderのWebページに掲載されています。<http://www.gapminder.org/>